

田中耕太郎 法学者。戦時下執筆禁止名簿記載対象者ながら、<敗戦>後、最高裁長官になると、弾圧的裁判を主導した。

たなかこうたろう
帝国議会始・1890 =

鹿児島市生れ。

日清戦争始・1894 = 4歳 :

Bushidou・・1899 = 9歳 :

日露戦争終・1905 = 15歳 :

アライ 創刊・1908 = 18歳 :

明治天皇没・1912 = 22歳 :
第一高等学校を経て、
青年期に、内村鑑三の無教会主義に属すなどし、

21ヶ条要求・1915 = 25歳 : 東京帝国大学法科大学法律学科を卒業し、内務省に入ったが、
民本主義・・1916 = 26歳 : 辞職して、母校の大学院に入り、商法を研究し、
ロシア革命・1917 = 27歳 : 助教授に就任。

ハルビン条約・1919 = 29歳 : 欧米に留学し、

原敬首相暗殺1921 = 31歳 :
水平社結成・1922 = 32歳 : 帰国。
関東大震災・1923 = 33歳 : 教授に昇進し、商法講座を担当。

円本時代始・1926 = 36歳 : この間、無教会主義に疑問を抱くようになって、
カトリックに改宗した。

世界恐慌・・1929 = 39歳 : 「商法研究」1巻。「世界法の理論」により法学博士。

満州事変・・1931 = 41歳 :
五一五事件・1932 = 42歳 : 「世界法の理論」。

芥川直木賞始1935 = 45歳 : 「商法研究」2巻。

日中戦争始・1937 = 47歳 : 法学部長に就任。大学自治の立場から<荒木文相事件><平賀爾学事件>の解決などに尽力し、

第二次大戦始1939 = 49歳 : 任期満了前に辞任。

日米開戦・・1941 = 51歳 : 情報局が各総合雑誌に執筆を禁止した名簿に載る。

年金+総武装 1944 = 54歳 :
敗戦・・・1945 = 55歳 : 敗戦直後、前田多聞文相の要請で教育行政に入り、東大教授のまま文部省学校教育局長を務めた後、
新憲法公布・1946 = 56歳 : 東大を辞職。吉田茂内閣の文部大臣に就任したが、六三制の即時採用に踏み切って対立、辞職となる。
新憲法施行・1947 = 57歳 : 参議院全国区より立候補して当選、緑風会に属し文教委員長。また教員検定委員会委員として教職追放の実施にあたった。

朝鮮戦争始・1950 = 60歳 : *二代最高裁長官に就任すると、尊属殺事件合憲判決、

独立回復・・1951 = 61歳 :
メーデー事件・1952 = 62歳 : 警察予備隊違憲訴訟却下。
テレビ放送始・1953 = 63歳 :

55年体制始・1955 = 65歳 : *三鷹事件上告棄却。松川裁判批判を非難し、'外部の雑音に迷うな'と裁判所長官合同会議で訓示、世論の
猛反発を受け、
なべ底不況・1957 = 67歳 : チャタレイ事件上告棄却、

美智子妃・・1959 = 69歳 : 松川事件破棄差戻、砂川事件破棄差戻など、最高裁判事として革新勢力と対立した。

安保闘争・・1960 = 70歳 : *最高裁長官を退官、国際司法裁判所判事となる。文化勲章受章。

全国総合計画1962 = 72歳 :

大阪万博・・1970 = 80歳 : 国際司法裁判所判事を退任し、

ドルショック・・1971 = 81歳 :
角栄金脈辞任1974 = 84歳 : 没した。

「没年日本史人物事典」, 平凡社百科事典,